

第1回バイオマス活用推進専門家会議での主なご意見 (骨子記載箇所)

農林水産省
大臣官房環境バイオマス政策課

第1回バイオマス活用推進専門家会議での主なご意見（骨子記載箇所）

1. これまでのバイオマス活用推進基本計画の評価等に関するご意見

（共通）

分類	ご意見	記載箇所
みどりの食料システム戦略について	有機の販売の促進や堆肥のマーケット強化など需要の価値構造の変化についても今回の計画に記載すると、 <u>みどりの食料システム戦略</u> とうまく連携できるのではないか。	骨子第1の9
農業とのかかわりについて	バイオマスの供給基盤となる <u>農業の持続可能性</u> の成立が重要。	骨子第3の2（1）
事例の横展開について	<u>バイオマス産業都市</u> のイメージ図のような世界を実現するために何が <u>ボトルネック</u> となっているのかを整理すべき。	骨子第3の4
	<u>バイオマス産業都市</u> について、選定地域数のみならず、選定地域で具体的な取り組みなどの成果についてアピールすべき。	骨子第3の1（3）

第1回バイオマス活用推進専門家会議での主なご意見（骨子記載箇所）

2. 新たな目標（たたき台）に関するご意見 （バイオマスの利用拡大）

分類	ご意見	記述箇所
目標設定について	<u>下水汚泥、食品廃棄物、林地残材</u> で利用量の伸びの要因を分析し、目標設定に反映してはどうか。	骨子第2の3（1）
食品廃棄物の位置付け等について	<u>食品廃棄物</u> の利用量の数値は <u>事業系と家庭系</u> があるが、 <u>事業系の有価物の取引が利用量に入っていない</u> ようなので、企業努力を促すためにも入れるべき。	骨子第2の3（1）
バイオマスの供給について	<u>資源作物や早生樹</u> など、これまで使われていなかったバイオマスの利用となると、 <u>耕作放棄地などの土地利用のポテンシャル</u> も含めて検討する必要がある。	骨子第3の1（3）
	持続可能性な事業とするため、 <u>輸入バイオマスの位置付け</u> を検討すること。	骨子第3の9
産業との連携について	マテリアル利用の促進を見据えた <u>製造産業との連携強化</u> を視野に入れるべき。	骨子第3の5（1）

第1回バイオマス活用推進専門家会議での主なご意見（骨子記載箇所）

2. 新たな目標（たたき台）に関するご意見

（バイオマス活用推進計画の策定）

分類	ご意見	記述箇所
再エネビジョンについて	地方自治体の計画づくりについては、市町村で策定が進められている <u>再生可能エネルギー推進ビジョン</u> とも連携すべき。	骨子第2の3（2）
SDGs未来都市について	SDGs未来都市と絡めることで、バイオマスの利活用に係る取組を促進できるのではないか。	

（バイオマス産業規模の拡大）

分類	ご意見	記述箇所
今後の展望について	<u>イノベーションの社会実装</u> へと進む中で、排出量の削減カーブは単純な線形ではなく、途中で加速する形になると考えられる。こうした大きな流れの中に新たなバイオマスが織り込まれてくると、ストーリーの信頼性が上がってくる。	骨子第2の3（3）
バイオマスの供給について	バイオマスの <u>需要と供給を広域の観点</u> でも考える必要がある。	骨子第2の2等
	単独地域の中での閉じた使い方と近隣地域と連携した使い方の双方を選択肢として考えるべき。	

第1回バイオマス活用推進専門家会議での主なご意見（骨子記載箇所）

2. 新たな目標（たたき台）に関するご意見

（その他）

分類	ご意見	記述箇所
GHGの見える化について	<u>CO2削減の取組が収益の形</u> となるように考えていただきたい。 <u>メタンや一酸化二窒素などの温室効果ガス削減量の観点</u> からの評価も必要。	骨子第3の6
バイオマスの利用バランスについて	バイオマスを利用する <u>速度と確保する速度</u> のバランスが崩れると、逆に環境負荷につながるので、そのような視点も必要ではないか。	骨子第1の11
マテリアル利用について	バイオマスの <u>マテリアル利用やみどりの食料システム戦略</u> を推進するのであれば、 <u>窒素やリンの利用などの目標や利用方法を誘導する記載</u> が必要ではないか。	骨子第3の2（2）
金融機関とのかかわりについて	<u>地域の金融機関を巻き込むこと</u> について定性的にでもいいので計画に記載して欲しい。	骨子第1の1
技術開発について	カーボンニュートラルの実現には従来の単なる再エネ・省エネの推進だけでなく、 <u>CCSやCCUなどの技術</u> を組み合わせしていく必要がある	骨子第4の4等